

個々の問題の出題の意図及びその正答率

国語 中学校 第2学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点				正答率
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項	
話すこと・聞くこと	一	1	1	どのような事実を取り上げて話しているかを考えながら聞くことができる。					91.9
		2	2	話し手の説明の仕方の工夫を考えながら聞くことができる。					69.8
		3	3	聞き方の工夫を考えながら聞くことができる。					76.0
		4	4	事実と意見との関係を考えながら話の内容を聞くことができる。					94.9
読むこと	二	5	5	指示語が指し示す内容を正しく理解しながら読むことができる。					82.8
		6	6	説明されている内容を正確にとらえながら読むことができる。					91.5
		7	7	文脈の中の人物の立場の違いを正確にとらえながら読むことができる。					74.4
		8	8	筆者の論理の展開を正しく理解しながら読むことができる。					89.2
		9	9	文章の要旨を正しく理解しながら読むことができる。					74.9
		10	10	文章の表現の仕方や文章の特徴を正しく理解しながら読むことができる。					84.4
書くこと	三	11	相手や目的に応じて情報を取捨選択したり、表現を工夫したりするよさを理解して書くことができる。					67.9	
言語事項	四	12	12	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。					98.6
		13	13						98.8
		14	14						99.1
		15	15						94.8
	一	16	16	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。					99.0
		17	17						94.2
		18	18						81.4
		19	19						95.4
		20	20						75.0
		21	21						88.5
	四	22	22	同訓異字の言葉を正しく使うことができる。					25.0
		23	23	対義語を正しく使うことができる。					60.3
		24	24	同音異義の言葉を正しく使うことができる。					96.6
	四	25	25	文の成分を正しく理解している。					76.8
26		26	慣用的な表現を正しく使うことができる。					94.9	
27		27	敬語を正しく使うことができる。					93.6	
28		28	古文の仮名遣いを正しく理解している。					75.8	
書くこと	五	29	29	資料から分かることを、主語・述語が整った文で書くことができる。					74.9
		30	30	資料をもとに具体的な例や体験から自分の考えや理由をもち、決められた字数で書くことができる。					71.9